

2018年2月19日
株式会社クラレ**光学用ポバールフィルム生産設備の増設について**

～画面サイズ大型化にともなう大型偏光フィルムの需要増への対応～

株式会社クラレ（社長：伊藤正明、本社：東京都千代田区）はこのたび、LCD（液晶ディスプレイ）の基幹部材である偏光フィルムのベースとなる光学用ポバールフィルムの生産設備を、倉敷事業所（岡山県倉敷市）において増設することを決定しましたのでお知らせいたします。

設備増設の背景

- ・LCD 市場は液晶テレビおよびスマートフォンやタブレットなど携帯機器の世界的な普及により、着実な成長を続けてきました。引き続きテレビサイズの大型化やパブリックディスプレイの普及により、更なる市場の拡大が見込まれます。
- ・このような市場環境において、LCD の基幹部材である偏光フィルムのベースとして、光学用ポバールフィルムの需要は拡大基調にあることから、当社は市場への安定供給を維持するために、生産設備の増設が必要と判断しました。
- ・なお今回増設する新系列は、大型偏光フィルムの生産効率向上に貢献する設備になります。
- ・当社は、今後も光学用ポバールフィルムのリーディングカンパニーとして、お客さまの多様化するニーズにお応えできるよう、供給体制の拡充とともに新製品の開発や一層の品質向上に注力してまいります。

設備増設の概要

場 所 : 株式会社クラレ 倉敷事業所 岡山県倉敷市玉島乙島 7471
生産能力 : 年産 3,200 万㎡
稼働時期 : 2019 年末予定

生産能力

本増設により、現状の年産 2 億 3,200 万㎡は同 2 億 6,400 万㎡に拡大します。

当社は、創立 100 周年を迎える 2026 年のありたい姿「独自の技術に新たな要素を取り込み、持続的に成長するスペシャリティ化学企業」を長期ビジョンに掲げ、その実現に向けた 2018 年～2020 年度の 3 カ年の実行計画として、中期経営計画『PROUD 2020』をスタートさせました。当社は引き続き、成長に向けた投資を積極的に行っていきます。

以上

(ご参考)

